

当期の概況

当期におけるわが国経済は米国・中国をはじめとする好調な輸出と、産業分野の広い範囲において企業収益の改善がありました。また積極的な民間設備投資によって、遅れていた中小製造業にも穏やかな回復傾向があり、全体的に概ね好調に推移いたしました。しかしながら、当社の所属する日本機械鋸刃物工業会におきましては前年同期比 100.4%の生産高に留まりました。

このような情勢の中で当社グループは住宅関連産業の回復と自動車関連業界の活況が継続したことから受注に恵まれました。天龍製鋸（中国）有限公司における新工場の適時な本格稼動と、国内工場の高付加価値製品に特化した設備の増強が、受注に呼応した生産を可能にし、年度計画を達成いたしました。

この結果、当期の連結売上高は 8,120 百万円（前年同期比 9.4%増）、営業利益 1,121 百万円（前年同期比 39.4%増）、経常利益 1,326 百万円（前年同期比 81.7%増）、当期純利益 859 百万円（前年同期比 78.5%増）の増収増益となりました。